

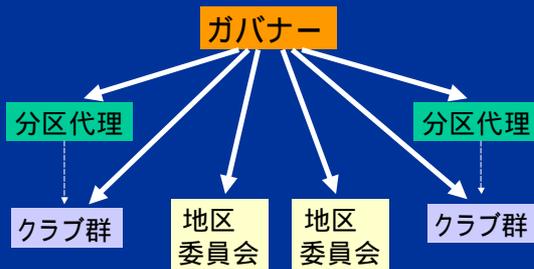
地区リーダーシップ・プラン (District Leadership Plan : DLP)

と

クラブ・リーダーシップ・プラン (Club Leadership Plan : CLP)

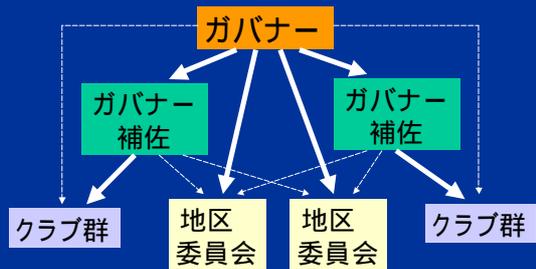
地区リーダーシップ・プラン District Leadership Plan : DLP とは

従来の地区管理



分区代理は非公式なクラブ管理

DLPによる地区管理



ガバナー補佐は、担当のクラブに対して
公式にガバナーの補佐業務を行う

DLPの目的

- 効果的な地区組織編制とその組織活用により、ガバナーの任務をより効果的に果たす
- 地区内のコミュニケーションをより円滑化する
- **クラブの活性化のため、地区内各クラブを支援する**
- 地区内の人材を発掘し養成する

DLP採用までの経過

- 1987年 長期計画委員会設置
- 1993年 試験的プログラム 12地区参加
- 1996年 RI理事会がDLP採択
- 1997年 DLP実施 (任意参加)
- 2001年 RI細則上にDLP採用を規定
- **2002年 DLPの義務的採用**

DLPの具体的な実施計画

- 地区のニーズに基づいたガバナー補佐の任命
最低6名 4 - 8クラブを担当
- ガバナー補佐の研修
- 委員会構成の見直し
委員会の新設と統廃合
従来の委員会構成にとらわれない
活動内容による機能的な統合

DLPの具体的な実施計画

- ガバナー、ガバナー補佐、地区委員会の任務と責任の確定
- ガバナー、ガバナー補佐、地区委員会間の相互連絡調整
- ガバナー補佐による指導力の継続性
3年までの留任可能
- 地区委員会の継続性
3年任期の任命を推奨

ガバナー補佐の クラブに対する任務

- クラブ目標について協議し支援する
- 公式訪問に関連して行われるクラブ協議会に出席する
- 四半期に1回、できれば毎月1回クラブを訪問し、クラブ指導者と協議する
- 公式訪問の日程および計画作成にあたりクラブ指導者を支援する

ガバナー補佐の クラブに対する任務

- ガバナーに対してクラブの状況を報告する
- クラブがガバナーの要請・推奨事項を遂行するように支援する
- クラブの奉仕プロジェクトに関する活動を見守る
- 将来の地区指導者を発掘し、育成する

クラブ・リーダーシップ・プラン Club Leadership Plan : CLP とは

クラブ・リーダーシップ・プラン (CLP)は、

2004年11月のRI理事会で決定

- ・地区リーダーシップ・プランの延長計画
- ・目的は、ロータリー・クラブの強化

→ 効果的なクラブへ

効果的なクラブの要素



クラブ・リーダーシップ・プラン

具体的には、.....

9ステップの実行策を提示

長期計画の立案、年間目標の設定、クラブ協議会の実施、地区とクラブの意思疎通、指導者の継続性確保、細則の見直し、親睦の機会、奉仕プロジェクト・委員会活動への積極的参加、包括的な研修企画

推奨ロータリー・クラブ細則の改定

クラブ・リーダーシップ・プラン

新推奨ロータリー・クラブ細則による機能別の委員会構成 (18委員会から5委員会へ)

- ・ 会員増強
- ・ クラブ広報
- ・ クラブ管理運営
- ・ 奉仕プロジェクト
- ・ ロータリー財団

奉仕活動実践のための委員会構成

クラブ・リーダーシップ・プラン

曾我年度は、地区内各クラブにCLPの理解・浸透を図る年度とする。

CLPに基づくクラブ組織づくりを検討する特別委員会の設置を、各クラブにお願いする。(R21世紀委員会)